


## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	A型事業所 Joy Quest	事業所番号	2714102650
住所	大阪市北区同心1-1-26	管理者名	角山由佳
電話番号	06-6467-4891	対象年度	令和7年

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>OSAKAしごとフィールド 2025年11月19日(水) 職場体験準備セミナー 3名参加</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> 
<p>職場体験に向けた不安の軽減 実際の職場に行く前に、流れや注意点を知らせて安心して参加できるようにする。 働くイメージを明確にする 自分がどんな仕事に向いているのか、どのような働き方ができそうかを具体的にイメージできるようにする。 コミュニケーションの練習の場をつくる 挨拶や報告・連絡の方法など、職場で求められる基本的なコミュニケーションスキルを確認する。 必要なサポートや配慮があれば働きやすいかを言語化し、支援者や企業に伝えられるようにする。 職場体験を成功しやすい準備 当日の服装、持ち物、心構えなどを事前に学び、スムーズに参加できるようにする。 くづかいのある参加者にとってのメリット 安心感を持って職場体験に臨める わからないことや不安が減り、「やってみよう」という気持ちを持ちやすくなる。 自分の強み・弱みを把握できる セミナー内でのワークや説明を通して、得意な作業や苦手な場面を知るきっかけになる。 ストレスを減らす方法を教える くづかいでの困りごとに対して、どのように対処すればよいか具体的に理解しやすい。</p> <p>就職に向けた自信づくり 準備のステップを踏むことで、「自分でできるかもしれない」と前向きになりやすい。 安心感を持って職場体験に臨める わからないことや不安が減り、「やってみよう」という気持ちを持ちやすくなる。 自分の強み・弱みを把握できる セミナー内でのワークや説明を通して、得意な作業や苦手な場面を知るきっかけになる。 ストレスを減らす方法を教える くづかいでの困りごとに対して、どのように対処すればよいか具体的に理解しやすい。</p>	<p>&lt;成果&gt; 実施した結果 利用者は実際の面接に近い形式で模擬面接を受けることができ、面接官からの質問に対して自分の考えを整理しながら回答する練習を行った。面接の流れやマナーについての理解も深まった。</p> <p>得られた成果 面接時の姿勢やしぐさの改善点を具体的に指摘してもらい、自信を持って話せるようになった。 想定質問への受け答えがスムーズになり、伝えたいことを的確に伝えられるようになった。 面接官との対話を通して、自己PRの内容をより充実させるヒントを得ることができた。</p> <p>課題点 緊張すると声が小さくなってしまったため、本音で落ちついて話せるようにする必要がある。 予想外の質問に対して、もう少し柔軟に対応できるよう準備が必要。 志望動機や自己PRをより明確にし、自信を持って話せるようにすることが課題。</p> <p>今後は、模擬面接を繰り返し実施しながら、自信をつけて本番の面接に臨めるようにサポートしていく予定。</p>

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>実施した結果 利用者が面接対策セミナーに参加し、実際の面接を想定した模擬面接を受け、受け答えの仕方や面接のマナーについて学びました。 その後、事業所内で参加できなかった利用者に向けて学んだ内容を発表し、全員で意見を交わす時間を設けました。これにより、事業所全体で面接対策に対する意識を高める機会となりました。</p> <p>得られた成果 参加者が学んだ知識を共有することで、事業所内の利用者全員が面接対策について理解を深めることができた。 他の利用者もセミナーの内容に興味を持ち、今後の就職活動に向けた意欲が向上した。 意見交換を通じて、面接時の工夫や不安について具体的に話し合うことができた。</p> <p>課題点 参加者の発表だけでなく、ロールプレイなどの実践的な練習を取り入れることで、より理解が深まる可能性がある。 面接に対する不安が残る利用者もいるため、継続的な練習の場を設ける必要がある。 実際の企業の面接事例をさらに共有し、より実践的な対策を行うことが求められる。</p>
--

## 利用者からの意見・評価

<p>見方・とらえ方・人間関係の改善など勉強になりました。</p>
-----------------------------------